

Linux技術支援 サービスご紹介

SolarisからRed Hat Enterprise Linuxへの 移行支援サービス



SolarisからLinuxへのモダナイゼーションのカギは、双方のOS技術を理解し活用することにあります

モダナイゼーションを考えられているお客様にとって、システムをどこまで作り変えなければいけないか?コストはどの程度かかるのか? 業務・運用は変わるのか?等、通常のシステム開発よりも多くの不安や課題を抱えられています。

富士通は、ミッションクリティカルな領域で選ばれ世界標準となっているRed Hat Enterprise Linuxベースのサービスで、企画段階から運用に至るまでの各工程の中で、SolarisとLinux双方のノウハウを駆使し、効率的、安定的、スムーズな移行を実現します。

サービス内容



テクニカルデスク サービス

設計技術支援・よろず相談、Red Hat Enterprise Linux(RHEL)移行 SolarisからRHELに移行する際のお悩みをLinux専門技術者が支援するサービスです。(よろず相談)



設計診断支援 サービス

お客様作成の設計値を富士通が保有するノウハウをベースに診断、リスクをチェックアウトするサービスです。



性能評価支援 サービス システム性能に関連する課題の解決を設計段階から支援するサービスです。検証時や運用時の システム性能に関するトラブルを**OS観点で分析、問題箇所の特定や改善策の提案**を行います。



構成検討支援 サービス

お客様の要件に対応した最適なプラットフォーム製品の選定やサイジングの支援を行います。

企画〜運用までを対象に移行先のRed Hat Enterprise Linux に関する技術支援をご提供

企画フェーズ

移行作業のボリューム見積・サイジング

- 移行支援ツール: Solaris/Linuxの非互換箇所を 抽出、改修規模の見積支援
- 性能評価支援:机上サイジングをベースとした事前 検証時のチューニングポイント、改修ポイントの洗い 出しを実施
- 構成検討支援:要件に合わせた製品選定

設計~テストフェーズ

アプリケーション ミドルウェア 「仮想化ソフト: RHOSP^(※1) OS: Red Hat Enterprise Linux ハードウェア: PRIMERGY / PRIMEQUEST



システム設計

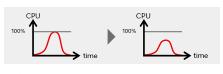
専任技術者がRHEL (^{※2)} 観点での分析により設計診断・性能評価を支援します

(※1) RHOSP: Red Hat OpenStack Platform

RHEL設計診断 / 性能評価支援

- 移行支援ツール: Solaris/Linuxの非互換箇所を 抽出、改修方法の支援
- 設計診断支援:デザインシート・OSパラメータチェック
- 性能評価支援:テストフェーズでチューニングポイント、 改修ポイントの洗い出しを実施

性能分析・チューニング



運用フェーズ



○○関数の呼び出しが ボトルネック・・



XXパラメータにより、呼び出し 削減効果が見込めます

性能問題解決支援

• 性能評価支援:定期的な統計情報のヘルスチェック による性能劣化の未然防止、性能問題発生時の 解決支援としてボトルネック解析・改善ポイントの提案

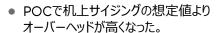
Linux技術支援サービスご紹介

SolarisからRed Hat Enterprise Linuxへの移行支援サービス

Solaris/Red Hat Enterprise Linuxの非互換箇所を抽出、改修規模の見積支援 Solarisからの移行にあたり、Red Hat Enterprise Linuxシステムサイジング・設計に関する技術支援

課題・要望

- 企画段階で、移行作業ボリューム、移行製品 を見極め、概算費用を見積もりたい。
- アプリや運用スクリプトの改修規模の見積を 行いたい。



要因・妥当性を確認したい。

対応·支援内容

富士通

移行支援ツールの提供 RHELの関数やコマンドに関するご質問に対応 構成検討支援にて適切なプラットフォーム製品選定



C言語ソース・シェルスクリプトにツール実行 出力結果を基に、改修方法をご検討

例:サンプリングして非互換ランク別に改修試行

全体の非互換規模を見積もり

POCの性能データを分析。環境情報やリソース使用状況の 分析により、要因を解析。

妥当性の確認に加え、改善策のご提案。



移行の概算見積におけるテクニカルデスクサービス支援例

お客様のご要望/課題

移行作業ボリュームの見極め・概算費用見積



アプリや運用スクリプトの改修規模を 見積もりたいが、どのように見積もれば よいかわからない。 どこから手をつければよいものか。。

ご支援内容、効果

- 移行対象のアプリケーションについて、OSの実装に大きく依存するC言語ソース やシェルで使用するコマンド等がどう変わるのかが把握できることで、移行時の アプリケーション改修規模(概算)を知ることができます。 (*その他、例えば|avaアプリケーションは一般的にはOSが異なっていても動作 可能なケースが多いです)
- 富士通のノウハウで識別した移行支援ツールにより、改修規模に加え、難易度 ランクを知ることができます。



サイジング / POCにおける性能評価支援サービス支援例

お客様のご要望/課題

机上サイジング精緻化によるサーバリソース適正化の 実現



POC実測時、現行システムより時間の かかる処理がある。 オーバーヘッドが高く見える。

ご支援内容、効果

- 富士通のLinux専門技術者が、環境情報によるOS設定状況の確認、および 実測データ確認によるリソース使用状況の分析を通じてオーバーヘッドの妥当性 を確認します。
- 妥当でない場合は増加要因の究明、OS観点の改善策のご提案により、移行 にあたってのサイジングを精緻化し、適正なサーバリソースを知ることができます。 (*業務処理の改善検討をご案内するケースもあります。)

Red Hat、Red Hat Enterprise、Red Hat logo、および|Bossは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.およびその子会社の商標または登録商標です。 Linux®は米国およびその他の国におけるLinus Torvaldsの登録商標です。 そのほか、本ドキュメントに記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

富士通株式会社